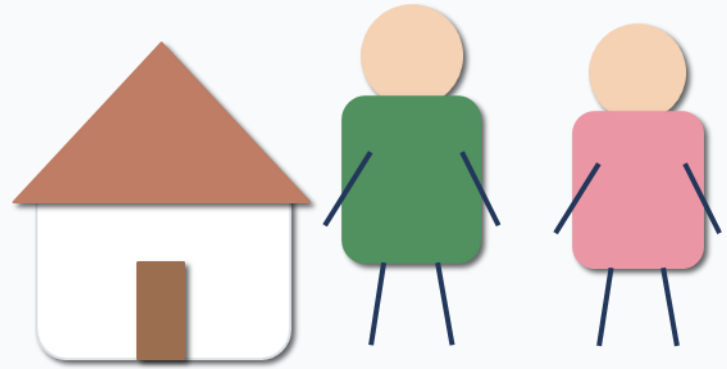
いつから始める緩和ケア

江南病院　５階病棟

看護師

本日の内容

1. 緩和ケアとは
2. いつから始める？
3. どんな人が受けられる？
4. 家族への支援
5. まとめ



皆さんに質問です

「緩和ケア」と聞いて何を思い浮かべますか？

- もう治療しない人が受けるもの？
- がんの人だけが受けるもの？
- 人生の最期に受けるもの？

実は、そうではありません



緩和ケアとは

WHO:「病気による身体や心のつらさを和らげ、
本人と家族の生活の質（QOL）を高めるためのケア」

つまり…

- 痛みを和らげる
- 不安を軽くする
- その人らしい生活を支える



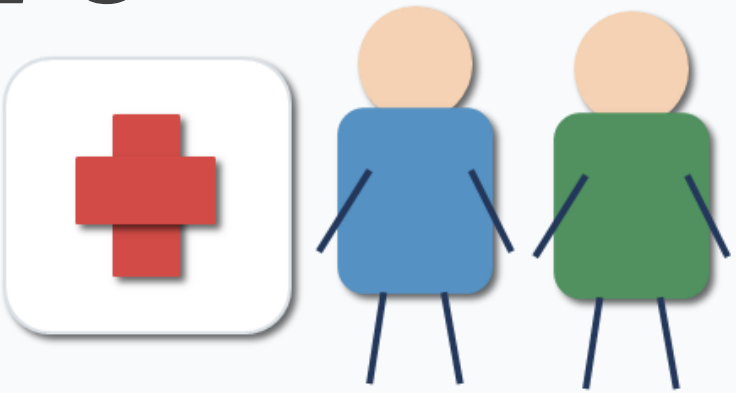
いつから始める？

昔は「人生の最後」と思われていました。

でも今は…

- 病気が分かった早い段階から始められる
- 治療と一緒に受けることができる

「まだ早いかな」と遠慮しなくて大丈夫です。



どんな人が受けられる？

緩和ケアはがん患者だけ？

- 心不全
- COPD（肺の病気）
- 腎臓病
- 認知症
- 神経難病　なども対象です



どんな人が受けられる？

家族が困ったときも
相談できます





大切なのは病名だけでなく
「どんなつらさがあるか」です

緩和ケアでできること
身体のつらさ

- 痛み
- 息苦しさ
- 吐き気
- 食欲がない
- 身体のだるさ
- 眠れない　など







緩和ケアでできること
～身体のつらさ～



薬の調整やケアで
少しでも楽になる方法を考えます

身体のつらさを
一緒にやわらげます



緩和ケアでできること
～心のつらさ～

- 「これからどうなるんだろう」という不安
- 気分の落ち込み、眠れない、孤独感
- 病気や治療についての迷い
- 話を聴いてもらうこともケアの一つです



緩和ケアでできること
～生活のつらさ～

- 家で過ごしたい
- できるだけ今までの生活を続けたい
- 家族に負担をかけたくない
- 医療費・介護などの不安



家族への支援

～患者だけでなく「家族」も支える～

- 家族の不安や疲れを相談しても大丈夫
- 「どう支えたらいい？」という悩みも対象
- 支える人を支えることも緩和ケア



まとめ

- 緩和ケアは最後だけではない
- がん患者だけが受けられるものではない
- 緩和ケアは治療をあきらめることではない
- 治療と緩和ケアは両立できる
- 痛みだけでなく、心や生活も対象
- 患者本人とその家族も支える



最後に



「どんな治療を受けるか」
だけでなく
「どう生きたいか」
も大切です
自分らしく過ごすためにできることを
一緒に考えていきましょう

ご清聴ありがとうございました

